

第16回ジョッキーベイビーズ九州地区代表決定戦 実施要項

2026年4月
JRA 宮崎育成牧場

1. 開催日時：2026年6月7日（日） 予選：11時頃 決勝：14時頃

2. 開催場所：JRA 宮崎育成牧場（ダートコース）

3. 競技内容

馬場：ダートコース直線 300m（スタート：厩舎地区側 ゴール：事務所側）

出走頭数：最大 12 頭程度

※参加希望者多数の場合は抽選を行います。

※出走馬が 6 頭以上の場合は予選レースを行い、上位入選者で決勝レースを実施します。

※予選の有無や枠順、競走ルールなどについては参加者確定後に改めて通知します。

◎決勝レースの優勝者 1 名を、第 16 回ジョッキーベイビーズ九州地区代表選手として選出します。

4. 出場資格

★**騎手**

・九州在住の小学 4 年生～中学 1 年生

・スポーツ傷害保険等、何らかの傷害保険に加入していること。

・騎乗中は直進を維持し蛇行や斜行を修正できること。自らの操作で騎乗馬を停止できること。

・マスコミへの取材協力、氏名、写真・動画の公開に同意いただけること。

★**馬**

・体高が 130 cm 以下で、悪癖等がなく健康なポニーであること。

・JRA 施設への入厩要件（馬インフルエンザ予防接種）を満たしていること。

※入厩時に馬体検査を実施します。

※入厩条件を満たすには最大で 8 週間かかる場合もあるため、早めにご確認ください。

◎地区代表決定戦へは 1 人 1 回限り、かつ 1 馬 1 回限りの出場で重複エントリーは認められません。

◎騎手および馬の技量や健康状態などが一定の基準に満たないと主催者が判断した場合、開催当日であっても参加を認めないことがあります。

5. 申し込み方法

4 月 30 日（木）必着で別紙の①申込書・②入厩届・③メディカルカードを下記送付先まで郵送もしくは FAX にて提出して下さい。書類審査ならびに応募者多数の場合は抽選を行い、5 月 17 日（日）までに主催者から参加の可否をご連絡します。

《送付・問い合わせ先》

〒880-0036 宮崎県宮崎市花ヶ島町大原 2347

「JRA 宮崎育成牧場 ジョッキーベイビーズ係」宛て

TEL：0985-25-3448 FAX：0985-27-8841

6. 事故に対する責任処置

・人馬の事故に際しては応急処置を行います。主催者は原則としてその責任を負いません。

7. 参加者の服装

・3 点式ヘルメット、ボディプロテクター、ブーツは各自でご用意いただき、必ず着用してください。（貸出不可）

- ・拍車、鞭は使用不可です。
※本年から決勝大会のルールにあわせて、鞭の使用を不可といたします。

8. 経費負担

- ・輸送経費として1頭あたり25,000円を支給します。

9. 入厩について

- ・ポニーの入厩は当日8時～9時の間にお願いします。
※前日の入厩はできませんのでご了承ください。
※上記の時間に入厩できない場合は、事前にご連絡ください。

10. 打合せ

- ・当日、出場者の打ち合わせを行います。時間は後日お知らせします。
- ・事前にJRAが抽選により決定した枠順をお知らせします。
- ・9時30分から10時30分まで馬場を開放する予定です。

11. 決勝大会・全国ポニー競馬選手権「第16回ジョッキーベイビーズ」について

- ・日時 2026年10月11日(日) 最終レース終了後
- ・場所 東京競馬場 (芝コース 直線400m)
- ・出場者 各地区の地区代表決定戦で選出された8名

宮崎育成牧場への入厩について

2026年4月2日
日本中央競馬会
宮崎育成牧場

宮崎育成牧場に入厩する場合、「日本中央競馬会競走馬伝染病防あつ規程」に基づき入厩検疫を行います。この検疫を受ける際には、下記の書類の提出が義務付けられています。書類に不備がある場合、入厩できないことがありますので注意して下さい。

記

入厩時に携行すべき書類

- 馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳（いわゆる健康手帳）
- 当該馬の個体鑑別検査に必要な馬体特徴を記載した書類
- 理事長が指定する予防接種証明書（注1）
- 輸入検疫証明書（注2）
- 理事長が防疫上特に必要と認める場合は、その都度指定する書類
（注1）海外での接種については、接種年月日が証明できるものに限り認める。
（注2）「家畜防疫対策要綱」による着地検査期間中は入厩を認めない。

〔参考〕

馬インフルエンザ予防接種入厩要件

1) 新入厩馬（本会施設に初めて入厩する馬）は以下の条件を満たしておくこと。

(1) 基礎免疫として2週間以上2ヶ月以内の間隔で2回接種が実施されていること。

○内国産馬は、1歳時の春期に実施するのが望ましい。

○外国産馬は、輸入後速やかに実施するのが望ましい。

(2) 基礎免疫完了後4週間以上7ヶ月以内に補強接種（初回補強接種）が実施されていること。その後すべての補強接種は1年を越えない間隔で実施されていること。

○7ヶ月以内の間隔で春期と秋期に実施するのが望ましい。

(3) 入厩前2週間から7ヶ月の期間に補強接種が実施されていること。

ただし、初回補強接種が適切に実施されていない馬又は補強接種間隔が1年を越えた馬については、再度基礎免疫を実施し2週間以上経過していること。

2) 再入厩馬（新入厩馬以外の馬）は以下の条件を満たしておくこと

(1) 前回の入厩以降、すべての補強接種は1年を越えない間隔で実施されていること。

○7ヶ月以内の間隔で春期と秋期に実施するのが望ましい。

(2) 入厩前2週間から7ヶ月の期間に補強接種が実施されていること。

ただし、補強接種間隔が1年を越えた馬については、再度基礎免疫を実施し2週間以上経過していること。